

2024

発行日 毎月1日 通算発行 458号

6



# 協会報



## 新会長挨拶

### 今月のトピックス

馳 浩知事へ「イメージアップ看板の取り組み」を報告  
「鉄道・運輸機構との災害協定」の締結  
～石川県内の地域鉄道における迅速な災害復旧等の  
連携推進に向けて～  
令和6年春の叙勲受章者の紹介  
令和6年度(一社)石川県建設業協会通常総会の開催



《石川の工芸シリーズ⑦》

石川県立美術館蔵

まけわづくりしゆためきんさいばん  
曲輪造朱溜金彩盤

あかし ゆうさい 【明治39(1906)年-昭和59(1984)年】重要無形文化財保持者 (髹漆)

制作年/昭和52(1977)年 サイズ/口径42.5×底径28.8×高さ5.1cm  
赤地友哉は、木工の曲物技法を応用し、木胎にありがちな収縮などによるゆがみが生じない曲輪造りを創案した。曲輪造りとは輪にした木を幾重にも重ねて器の形を作る技法であり、本作品は黒漆と朱溜の曲輪を組み合わせたものである。作者得意の塗りの妙技に加えて、蒔きつけられた金が見る角度によってわずかに輝いて見えるなど、渋い味わいの中にさりげない装飾効果をあげている。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



《石川の工芸シリーズ⑦》  
まげわづくりしめだめきんさいぼん  
曲輪造朱溜金彩盤  
赤地 友哉 (あかじ ゆうさい)

# CONTENTS 6

1	新会長挨拶	2
2	今月のトピックス	
	馳 浩知事へ「イメージアップ看板の取り組み」を報告	3
	「鉄道・運輸機構との災害協定」の締結 ～石川県内の地域鉄道における迅速な災害復旧等の連携推進に向けて～	4
	令和6年春の叙勲受章者の紹介	5
	令和6年度(一社)石川県建設業協会通常総会の開催	6
3	災害復興の足音	10
4	地区協会コーナー	11
	～“LAKUNAはくい”から能登に未来をともし～ 羽咋駅周辺賑わい交流拠点 (一社)羽咋郡市建設業協会	
5	最近の完成工事から	12
	加賀海浜産業道路(白山市小川町～松本町間4車線化)完成 石川県土木部道路建設課	
6	令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.9	14
	本建設工業株式会社	
	令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.10	16
	山崎・慶伊特定建設工事共同企業体	
7	今月の「輝き！」さん No.110	18
	株式会社丸西組 東 龍之介さん	
8	協会だより	
	石川県防災会議への参画	19
	理事会の開催	19
	「イメージアップ看板デザインコンテスト」入賞作品の紹介	20
	建設業における時間外労働上限規制に係る講習会の開催	22
9	石川県総合建設業協同組合だより	
	理事会の開催	22
	令和6年度 石川県総合建設業協同組合第50回通常総会の開催	23
10	石川県土木施工管理技士会だより	
	第1回役員会の開催	24
11	会員の異動	
	新入会ご挨拶	24

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人  
石川県建設業協会  
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

“未来”を創り  
“ふる里”を守る  
建設産業



ホーム

協会案内

お知らせ

講習会・研修会

協会報

指名競争入札参加

お問い合わせ






YouTube

今月の「輝き！」さん



現場で活躍する  
女性はカッコイイ



建設共済保険



建設共済保険



建設業労働災害防止協会  
石川支部



ホームページをご覧ください



## 新会長挨拶

(一社)石川県建設業協会 会長 鶴山 庄市



協会員の皆様には平素本協会の活動・運営に多大なご理解・ご協力を賜わり感謝お礼申し上げます。先般開催されました本協会総会にて、会長就任を承認していただきました。平櫻前会長が取り組んでこられた諸課題解決へ引き続き微力ながら取り組んでまいると共に、新たな課題にも前向きに対応していく所存です。どうぞ会員の皆様にはご指導・ご助言賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

さて、能登半島地震が発生して早や半年近くが経ちました。発災直後から能登地域会員企業の皆様は被災されたにも拘らず、困難な状況の中で懸命に応急復旧に携わられました。また、県内各地区協会会員企業も積極的に道路啓開作業や資材運搬に従事いただき、能登の復旧に大いに貢献していただきました。本協会のスローガンである「地域の守り手」として、その働きは面目躍如といった感があります。ただ、亡くなられた方や怪我をされた方、さらには建物が相当な被害を蒙られた方も数多くいらっしゃるの、改めてお見舞いを申し上げますと共に、これから一日も早い復旧・復興がなるよう心から望んでいます。

その復旧工事が今後何年にもわたって行われていきます。能登地区の会員企業は苦しい状況の中ですが、出来る限りの気持ちを持って復旧工事に当たっていただきたいとお願いする次第ですし、県内各地区協会会員企業の皆様も是非共、能登の復旧・復興の手助けをしてあげていただきたいと切にお願い申し上げます。能登の復興なくして石川の成長発展はないという覚悟で協会一丸となり対応していく所存です。

建設業界は本年度から適用された時間外規制に伴う諸対応、それに関連する人材確保、更には担い手不足を緩和させ生産性向上に繋げるデジタル化の促進、処遇改善の為の給与アップやキャリアアップシステムのより一層の普及等々、対応すべき課題は数多くあります。また、今回の震災復旧に際して改めて認識された業界の活動を、SNSなどを使っていかにうまく分かり易く発信していくかといった広報の在り方も大きな検討課題です。それらの課題、一つ一つが早急に解決できるものではなく、かつ、地域毎の状況も異なる中での対応とならざるを得ない面も多々あると思われま。

また、平櫻前会長の指導の下、緒についた県建設総合センター建て替え計画も進めていかなければなりません。この事業は特に協会員の皆様のご理解ご支援なくして進められないものです。今後、機会を捉えて状況説明していきたいと考えます。

以上、課題の一端を記しましたが、これらの課題を乗り越えていくべく、今後共皆様のご協力ご助言を賜わりますよう重ねてお願い申し上げます。

## 今月のトピックス

### 馳 浩知事へ「イメージアップ看板の取り組み」を報告

5月21日(火)、平櫻 保会長、山田外志雄常任理事、山岸 勇専務理事の3名が、馳 浩知事を訪問し「イメージアップ看板の取り組み」を報告しました。

平櫻会長から、県協会でイメージアップ看板デザインコンテストを実施し、多数の応募作品の中から最優秀賞1点を選定し、今年度の県土木部発注工事現場に看板を掲示して建設現場のイメージアップと担い手の確保につなげていきたい旨を説明しました。

馳知事は「非常によい取り組みであり、素晴らしい作品だと思います。特に能登半島地震の復興に向けて動いている、前に進んでいるというイメージが出ており、明るい色使いが大変よい。」と述べられました。



馳知事への報告



## 「鉄道・運輸機構との災害協定」の締結 ～石川県内の地域鉄道における迅速な災害復旧等の連携推進に向けて～

締結日 令和6年5月30日(木)

締結場所 石川県建設総合センター

出席者 鉄道・運輸機構 渡邊 修 鉄道技術センター長、  
藤浪武志 建設企画部担当課長、  
高原英彰 建設企画部技術企画・安全推進課総括課長補佐  
小林竜太郎 鉄道技術センター企画部管理課員

協会 鶴山市市長、山岸 勇専務理事、地中 浩常務理事他職員2名

### 概要

石川県建設業協会と鉄道・運輸機構は、県内の地域鉄道における迅速な災害復旧等を連携して推進することを目的に、5月30日(木)、「災害協定」を締結しました。

締結式では、鶴山会長が「この度の能登半島地震では、国や県からの災害協定による支援要請を受け、地震発生直後から道路啓開や緊急資材の運搬等の支援活動に全力を挙げて取り組んできました。これらの教訓から公共交通施設における地方鉄道の防災力の強化も極めて重要であると考えます。今回の協定締結を通じて、石川県建設業協会との連携がさらに強化され、災害時に、建設業界が迅速かつ効果的な支援を行い、鉄道災害の復旧・復興に貢献できるよう、「地域の守り手」としての役割を果たして参りたいと思います。」と述べ、渡邊鉄道技術センター長が「昨今の自然災害の頻発・激甚化に対し、被災した鉄道への技術支援を速やかに行うため地元に通じた石川県建設業協会様と災害協定を締結させていただきました。平常時から協会との連携体制を構築することにより、万が一のときに速やかな対応が可能となるように取り組んでまいります。」と述べられました。今後、災害発生時において、互いが緊密に連携して県内の地域鉄道における迅速な災害復旧等に向けた取り組みを推進してまいります。



## 令和6年春の叙勲受章者の紹介

令和6年春の叙勲で、県建設業協会前会長 平櫻 保氏が「旭日双光章」を受章されました。

### 令和6年春の叙勲

旭日双光章 平櫻 保氏

みづほ工業株式会社 代表取締役会長



#### 功績の概要

約50年の永きにわたり建設業に精励するとともに、(一社)石川県建設業協会会長、(一社)金沢建設業協会会長を歴任し、業界の振興発展に貢献されました。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



## 令和6年度(一社)石川県建設業協会通常総会の開催

開催日時 令和6年5月27日(月) 13:00~14:10

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 協会員93名(委任状46名)

### 概要

冒頭、平櫻会長は、「元日に発生した能登半島地震では、1月2日に当会館に災害対策本部を開設し、以来、連日、道路啓開に当たっていただいた。被災地の会員企業の方々は避難所から現場に赴き、金沢以南の会員企業の方々は通いで応援に行くという大変厳しい状況の中、また、環境が非常に劣悪な中、献身的にご尽力いただいた。お陰様で4月19日、県との協定による道路啓開に一応のピリオドを打つことができた。既に県・国とも災害復旧工事が発注になるなど、復興に向けてのフェーズが変わったと思っている。経済的には、このように色々と物価が高騰すると、我々も一生懸命に給与を上げているが、その効果が全く出ていないのが現状ではないかと思う。国には、少しでも経済を拡大していただき、それが為替に影響がないように、そして我々の生活が“頑張っただけ良かったな。給与が上がって良かったな。”という環境になることが一番望ましいと思っている。本日は、今年度の事業並びに予算等について皆さんにお諮りするので、ご審議いただきたい。」と挨拶しました。



平櫻会長挨拶



総会会場

引き続き、中市勝也副会長、明星加守暢珠洲協会長、高木作之鳳輪協会長、田村行利七尾鹿島協会長が登壇し、中市副会長が代表して「本年元日の地震で全国の方々の応援をいただき、特に県建設業協会会長を始め役員・会員の皆様の寝ずの応援や力添え、さらには県協会からの義援金等、口では言い表せない程の協力をいただきました。復旧にはかなりのエネルギーを必要としており、さらなるご協力を賜りますようお願いいたします。」と、能登半島地震の支援等に対する謝辞を述べました。



災害復旧支援に対する謝辞

議事では、議事録署名人の指名後、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画及び収支予算の2件が報告され、決議事項では、令和5年度収支決算、新建設総合センター(仮)の建て替えについて、理事選任、監事選任の4件が審議されいずれも異議なく承認されました。

総会後の理事会で役員改選が行われ、会長に鶴山庄市氏、副会長に真柄卓司(新任)、中市勝也、小中出佳津良の三氏、常任理事に岡田康晴、山田外志雄、向出剛一、北川隆明(新任)、井戸谷信一(新任)、澤田 剛(新任)、藤内拓朗、吉光岳文、谷端正宗、表 守活、南 哲郎、田村行利、高木作之、明星加守暢の各氏、監事に梅谷基樹(新任)、寺井 裕、宮下克己の三氏、専務理事に山岸 勇氏、常務理事に地中 浩、熊田康也(新任)、松村武志の三氏が選任されました。退任した平櫻前会長は常任顧問に就きました。

なお、新役員は次頁のとおり。

5月27日の通常総会后、協会長を退任される平櫻氏の永年にわたる功績に対し、鶴山庄市新協会長から感謝状と記念品が贈呈されました。



## 一般社団法人石川県建設業協会役員名簿

役 職	氏 名	会 社 名		役 職	氏 名	会 社 名	
会 長	鶴 山 庄 市	加賀建設(株)	新	理 事	水 内 健 之	城東建設(株)	
副 会 長	真 柄 卓 司	真柄建設(株)	新	〃	宮 下 英 己	(株)北都組	
〃	中 市 勝 也	(株)丸中組		〃	明 翫 圭 祐	(株)明翫組	
〃	小中出 佳津良	小中出建設(株)		〃	江 口 充	(株)江口組	
常任理事	岡 田 康 晴	酒井工業(株)		〃	西 功太郎	(株)丸西組	
〃	山 田 外志雄	宏州建設(株)		〃	伊 野 博 俊	(株)トーケン	
〃	向 出 剛 一	(株)向出組		〃	清 水 廉太郎	太陽工業(株)	
〃	北 川 隆 明	北川ビューテック(株)	新	〃	山 崎 貴 文	(株)山崎組	
〃	井戸谷 信 一	北興建設(株)	新	〃	上 田 大 造	北川土木(株)	新
〃	澤 田 剛	沢田工業(株)	新	〃	田 中 志 人	白山建設(株)	新
〃	藤 内 拓 朗	橘建設(株)		〃	村 谷 哲 也	(株)津幡工業	新
〃	吉 光 岳 文	(株)吉光組		〃	小 倉 一 夫	小倉建設(株)	
〃	谷 端 正 宗	(株)慶伊組		〃	戸 田 充	(株)戸田組	
〃	表 守 活	(株)表 組		〃	二 俣 馨	(株)新出組	
〃	南 哲 郎	南建設(株)		〃	池 崎 義 典	鈴平建設(株)	
〃	田 村 行 利	(株)田村工業		〃	宮 下 正 久	宮下建設(株)	新
〃	高 木 作 之	昭和建設(株)		監 事	梅 谷 基 樹	みづほ工業(株)	新
〃	明 星 加守暢	(株)のとさく		〃	寺 井 裕	寺井建設(株)	
理 事	岡 昌 弘	(株)岡 組		〃	宮 下 克 己		
〃	小 柳 誠	日本海建設(株)		専務理事	山 岸 勇	事務局	
〃	高 田 直 人	(株)高田組		常務理事	地 中 浩	〃	
〃	田 上 淳 一	田上建設(株)	新	〃	熊 田 康 也	〃	新
〃	豊 蔵 享 一	(株)豊蔵組		〃	松 村 武 志	〃	
〃	野 村 幸 平	大三建設(株)					
〃	橋 本 和 宏	兼六建設(株)					
〃	坂 東 久 雄	共栄建設(株)					
〃	本 田 正 敏	(株)本田工務店					

理事47名 監事3名

## 一般社団法人石川県建設業協会委員長名簿

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
真 柄 卓 司	総務企画委員長	明 翫 圭 祐	建設青年委員長
岡 田 康 晴	土木委員長	井戸谷 信 一	建設人材確保特別委員長
山 田 外志雄	建築委員長	澤 田 剛	防災・安全対策特別委員長
向 出 剛 一	土地改良委員長	藤 内 拓 朗	建設総合センター建設基本計画策定特別委員長
北 川 隆 明	戦略広報・情報化推進委員長		

一般社団法人 全国建設業協会会長表彰

優良役員表彰

(規程第2条第4号該当者)  
(年齢55歳以上役員等の経歴20年以上)

長澤 一郎 (株)長沢組  
萬谷 哲男 日樽建設工業(株)  
本 均 本建設工業(株)  
橋爪 渉 (株)橋爪組  
矢野 好二 能登建設(株)

優良会員表彰

(規程第4条第1号該当者)  
(建設業20年以上の営業)

邦和建設(株)  
(株)ヨネミツ  
松谷建設(株)

優良従業員表彰 (規程第5条該当者) (年齢55歳以上勤続25年以上)

庭 整志	北川ヒューテック(株)	道浦 貴信	真柄建設(株)
田中 茂	北川ヒューテック(株)	柴田 広訓	小中出建設(株)
山岸 和茂	(株)豊蔵組	野田 昌利	小中出建設(株)
北川 浩	(株)豊蔵組	定免 芳訓	小倉建設(株)
中川 稔	真柄建設(株)	岡山 路郎	小倉建設(株)

一般社団法人 石川県建設業協会会長表彰

優良役員表彰 (規程第2条第4号該当者) (年齢50歳以上役員歴20年以上)

山本 善光 (株)山組

優良会員表彰 (規程第3条第1号該当者) (建設業20年以上)

(株)津幡工業

優良従業員表彰

氏 名	所属会社名	氏 名	所属会社名	氏 名	所属会社名
小山 勇治	加賀建設(株)	吉田 健治	辰村道路(株)	宮下 正輝	加越建設(株)
酒井 崇行	〃	中野 剛	橘建設(株)	河西 喜範	加賀工建(株)
橋野 智洋	(株)金沢舗道	徳川 登	日本海建設(株)	山岸 克枝	(株)吉光組
内田 貴之	北川ヒューテック(株)	須賀 健志	(株)北陸工建	中野 勇志	中島建設(株)
茶花 憲治	〃	土井 勝博	北興建設(株)	大森 拓郎	池田建設工業(株)
山越 弥虎	〃	上出 翔太	真柄建設(株)	宝達 泉	〃
高窪 祥之	〃	翠川 実華	〃	中野 雅之	石田工業(株)
山崎 泰弘	〃	池田 実男	(株)明翫組	菅谷 祥和	昭和建設(株)
池田 彰基	(株)小山組	吹谷 和昭	(株)向出組		
多加 大樹	鈴木建設(株)	酒井 基樹	(株)江口組	計	28名

# 災害復興の足音

「令和6年能登半島地震」では、農道や農地の亀裂・陥没、水路の崩壊等、農業関連インフラにおいても大きな被害を受け、県建設業協会では、「地域の守り手」として、県等と連携しながら復旧・復興業務に取り組みました。

## ◎農道啓開（輪島市門前町地内）



修復  
➔



## ◎パイプライン修繕（珠洲市野々江町地内）



## ◎農地復旧工法検討調査（輪島市 白米千枚田）



石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

／／ **がんばろう能登！** **がんばろう石川！** ／／

## 地区協会コーナー

～“LAKUNAはくい”から能登に未来をともす～  
羽咋駅周辺賑わい交流拠点

(一社)羽咋郡建設業協会

羽咋市で羽咋駅周辺の賑わい拠点づくりとして事業を進めてきた「LAKUNAはくい」が、7月1日の市政施行日に併せてグランドオープンします。

「LAKUNA（ラクナ）はくい」の名称は「気楽な」という意味と、LAKUNAの“L”はlighting（灯す）の頭文字を取り、“羽咋の未来をともす、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり”を表し、気楽に楽しく、様々な世代に利用してもらい、羽咋の未来を明るく灯してくれる施設となればという意味が込められており、公募により応募総数1,269件の中から選ばれました。

現在、建物本体は完成していますが、1月1日に発災した能登半島地震により外構工事の一部や周辺施設にも影響がでており、オープン当日には周辺整備が一部間に合わないような状況となりました。

この震災により市内でも全壊60軒余りを含む3,500軒を超える住居が被災しており、液状化による大規模被害も加わり、復興までには長い道のりが続きます。

今後、能登からの人口流出が懸念される中、賑わい拠点づくりを掲げて進めてきた事業が、「このタイミングで開業できることはある意味幸いであり、過疎化が顕著な地域において、震災に埋もれることなく未来をともすシンボルにしていかななくてはならない」とのお話もありました。

地域の想いを形にした“LAKUNAはくい”は、指定管理者である(株)オカモトの運営により独自イベントを企画しながら運営していく予定であり、多世代の市民はもとより、被災した能登の方々にもサードプレイスとして、それぞれのスタイルに合わせた時間を過ごしていただける施設になることが期待されます。



「LAKUNAはくい」建物全景

## ○LAKUNAはくい施設概要（鉄骨造4階建て 延べ床面積2,728.44㎡）

1階「カフェスペース（ドトールコーヒー） 学習空間150席」

2階「屋内公園（木製遊具、ストレッチ器具） 定員150人」

3階「シェアスペース（キッチン、eスポーツ、アート、多目的ルーム）」

4階「LAKUNAホール 定員230名」

## ○民間商業施設：木造平屋建て 延べ床面積330.40㎡

テナント「飲食店2店舗」、「学習塾」、「無人店舗」

(資料提供：羽咋市総務部 まちづくり課)

# 最近の完成工事から

## 加賀海浜産業道路（白山市小川町～松本町間4車線化）完成

石川県土木部道路建設課

### 1 はじめに

加賀海浜産業道路は、全国有数のものづくり企業が集積する加賀地域と、全国の重要港湾の中でもトップクラスのコンテナ取扱量を誇る金沢港を結ぶ、海側の重要な幹線道路です。

沿線の工業団地の企業立地は順調に進んでいる一方で、大型の輸送車が増加し、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生していたことから、円滑な交通を確保し、企業、ひいては地域全体の競争力を高めるため、4車線化などの機能強化を図っているところです。

白山市小川町～松本町間1.8kmの区間については、平成30年度に着手し、これまで精力的に工事を進め、令和6年4月21日に完成しました。



図-1 位置図

### 2 事業概要

事業箇所：白山市小川町～松本町 地内

事業期間：平成30年度～令和5年度

延長：L=1.8km

道路規格：第3種第2級

幅員：W=13.0 (23.0) m

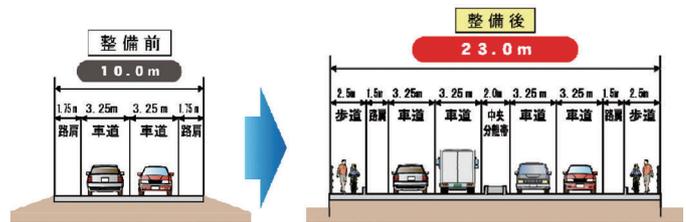


図-2 標準断面図

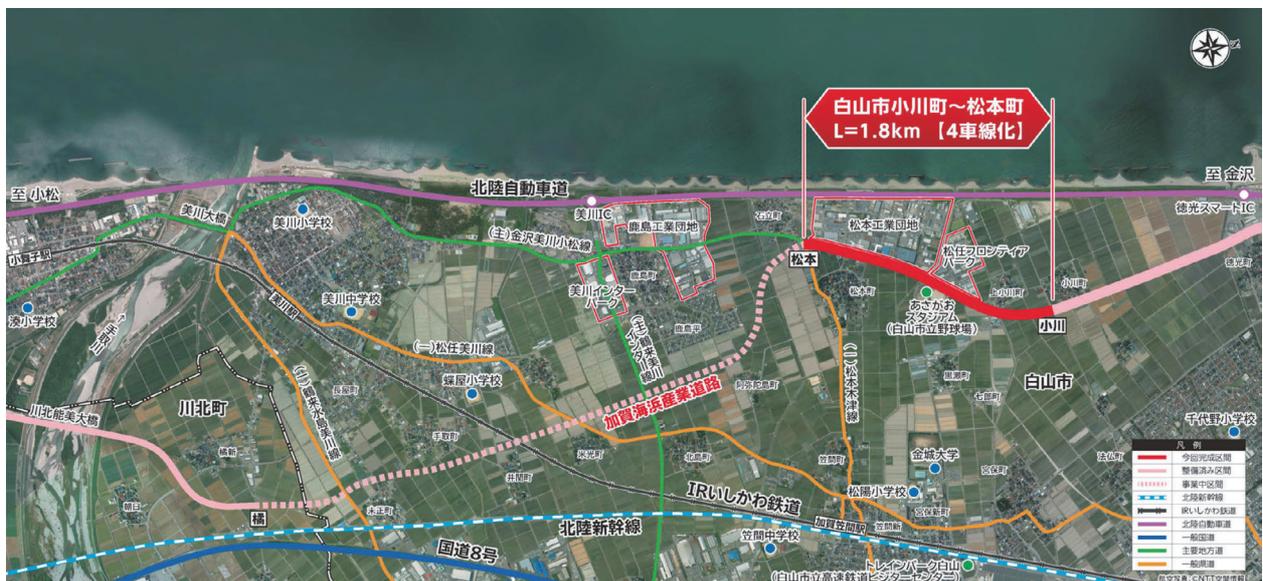


図-3 加賀海浜産業道路（小川町～松本町）

### 3 事業の効果

本区間の完成により、白山市松本町から金沢外環状道路海側幹線までが4車線で結ばれることとなり、加賀地域と物流拠点である金沢港の相互アクセスが強化され、物流の効率化が図られるとともに、企業のさらなる集積による地域活性化にも大きく寄与するものと考えています。

### 4 事業の特徴

本事業は、日交通量約2万台の幹線道路で沿線に工業団地が立地する区間での現道拡幅工事であったことから、施工に際し必要となる車線切替作業にあたっては、事故や渋滞の発生、企業活動への影響などが懸念されたため、隣接工業団地や警察と協議を行い、綿密な切替計画を立案しました。また、交通規制の実施にあたっては、走行車線をイラストにより表現したオリジナルデザイン標識の設置や直感的に規制内容がわかるよう地図やカラー印刷を活用した案内チラシの作成など、道路利用者への情報の伝わりやすさに配慮し、安全かつ確実に工事を遂行させました。



図-4 案内チラシ

### 5 おわりに

令和6年4月21日(日)には、馳知事をはじめ多数の方々のお出席のもと、完成式が執り行われ、式典後には、地元で伝承される笠間弓堀太鼓が披露されました。

今後とも、加賀地域の更なる発展に向けて、本区間に繋がる白山市松本町から川北町橋間や、令和5年度より事業着手した小松市城南町から村松町間の早期完成に向けて整備を進めていきます。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げます。



写真-1 加賀海浜産業道路(小川町～松本町)  
(金沢側から小松方向を望む)



写真-2 完成式

## 令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.9

施工企業名：本建設工業株式会社

■工事名 主要地方道 小松辰口線 地方道改築  
(防災・安全) 工事 (梯川橋梁 A2橋  
台工)

■工事分野 道路改良工事

■施工場所 小松市遊泉寺町 地内

## ■工事概要

橋梁下部工

橋台工 (逆T式鉄筋コンクリート橋台 H=7.5m)

N=1基

基礎工 (場所打ち杭  $\phi$  1,200mm L=9.0m)

N=8本

■工期 令和4年8月23日～令和5年2月28日



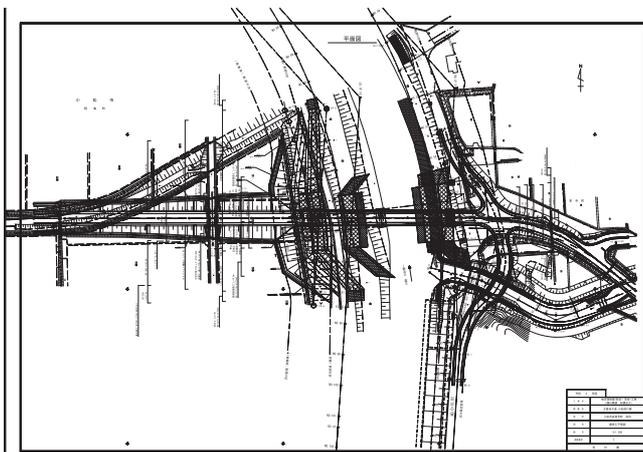
完成写真

## ■推薦理由

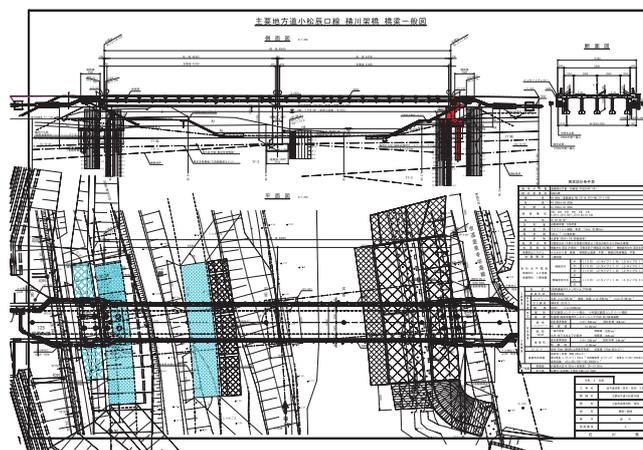
本工事は、主要地方道小松辰口線において梯川を渡河する梯川橋梁の下部工事。

冬期におけるコンクリート打設を伴う工事であったが、ワイヤレスコンクリート温度センサーの使用により、コンクリート内部温度と外気温との差を管理し、養生期間や脱枠時期を調整することで、コンクリートのひび割れ防止を図るなど、高度な施工管理に努めた。

また、測量作業には自動追尾測量機を使用することで作業員の省力化を図ったほか、地元高校生への現場説明会を実施するなど将来の担い手育成に貢献した。



計画平面図



橋梁一般図



スマートロック設置



作業ヤード



場所打ち杭施工状況



不陸整正作業中

■現場代理人等のコメント



現場代理人等  
和田翔二氏

この度は知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。発注者の南加賀土木総合事務所監督員をはじめ、工事に関係する多くの皆様方の協力のご指導のおかげと深く感謝いたしております。

本工事は、小松辰口線地方道改築工事による道路新設に伴う橋台工事であり、冬季施工による寒中コンクリートの品質管理と、現場付近は道路が狭く場所打ち杭施工時の作業ヤードの確保や資材搬入が課題となりました。

- 1) コンクリートの管理として、外部足場周囲と屋根養生を行い、音風ヒータによるコンクリート温度及び外気温の管理。また、「スマートロック3」をコンクリート内部に設置することでコンクリート内部と外気温の温度差を把握し、養生期間を判断することで品質を確保しました。
- 2) 場所打ち杭の作業ヤード及び資材の管理として、①作業ヤードは旧県道と新県道をまたぐ形であり舗装勾配の関係で平坦ではなかったため粒調碎石で不陸整生してから鉄板を敷くことで、鉄板のめくりあげやズレなどによる事故を予防しました。②現場付近に大型車両走行時に対面走行が不可能になる箇所があったため、その箇所の始点と終点に誘導員を配置し、事故を防止しました。

上記のことを意識し現場を進めることにより無事故で品質の良い構造物を作ることができたと思っています。

今後も本工事で学んだことを生かし、より良い品質でより安全な工事を心掛け、地域の皆様に安心していただける工事を行っていききたいと思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

# 令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：山崎・慶伊特定建設工事共同企業体

■工事名 一般国道157号 橋りょう補修(防災・安全) 工事 (女原大橋) (P4耐震補強工)

■工事分野 橋梁工事

■施工場所 白山市東二口 地内

### ■工事概要

P4橋脚補強工 (RC巻き立て) N=1基 (H=27.0m)

■工期 令和3年9月7日～令和5年3月10日

### ■推薦理由

本工事は、緊急輸送道路である国道157号の手取溪谷を渡河する女原大橋 (鋼5径間連続V橋脚ラーメン橋) のP4橋脚耐震補強工事 (RC巻き立て) である。

巻き立てコンクリート打設時に、既設コンクリートと新設コンクリートの付着強度試験の確認や型枠継目部にジョイント止水テープの使用、型枠脱型後にコンクリート養生剤を塗布することでひび割れ抑制及び圧縮強度向上を図る等、コンクリート及び打継部の品質向上に配慮した。

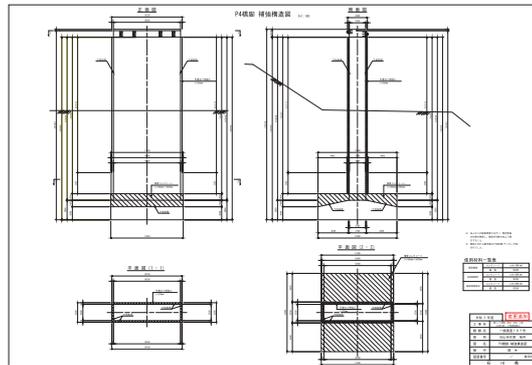
また、工事用搬入路から出入りの際にセンサー検知式の電光掲示板を設置し、一般車両への注意喚起を行う等、安全確保に配慮し事故なく工事を完成させた。



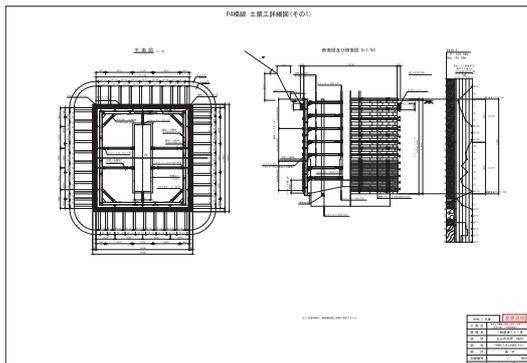
RC巻き立て 施工状況1



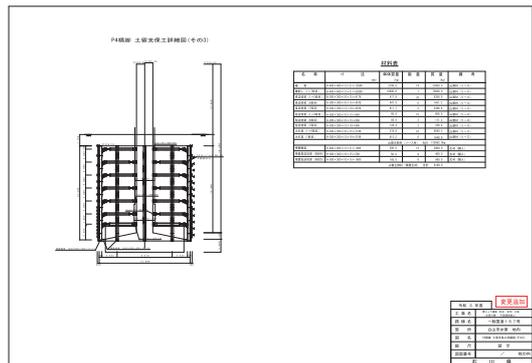
RC巻き立て 施工状況2

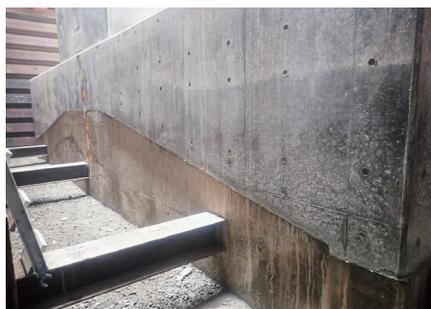


補強構造図



土留詳細図

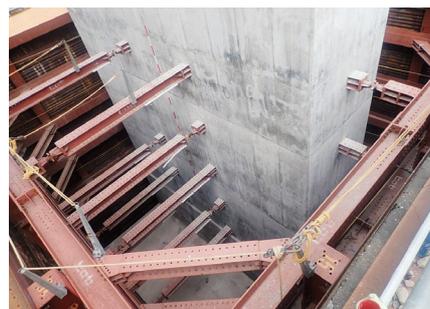




RC巻き立て完了1



RC巻き立て完了2



RC巻き立て完了3



仮土留・掘削完了1



仮土留・掘削完了2



仮土留・掘削完了3



掘削状況 (冬期)



柱コンクリート 打設状況



底板コンクリート 打設状況

■現場代理人等のコメント



主任技術者  
小山昭紀氏

この度、石川県知事賞を受賞させていただき、大変光栄に感じております。発注者のご指導、工事業者・関係者の協力のおかげであると感謝しております。ありがとうございます。

今回の工事は、国道157号に架かっている女原大橋の橋脚（P4）の老朽化に伴うRC巻き立てによる耐震補強工事です。昭和50年代の構造物ということもあり見た目にも劣化を感じる状態でした。

本体構造物の巻き立て工に先立ち、地中に埋まっている部分を仮土留・掘削により既存構造物を丸裸にしました。地盤から14.5mを、ライナープレート・補強リング・山留支保工合わせて鋼材重量計280t、ボルト総数2万本により仮土留を組立てました。積雪の多い環境・時期ということで毎日、雪・凍結と格闘しながらの作業でした。それでも何とか順調に、春までに掘削を完了させることができ、非常に良かったと思います。

その後の躯体本体施工は、潤滑に流れるようないいリズムで作業することができたと思います。それも有り積雪時期前の12月上旬で工事を完成させることができました。

今回の工事を終えて、現状の構造物を維持管理していく大切さを強く感じました。現在の技術により、くたびれたインフラの強度・耐久性を高めて、次の世代に引き継いでいく重要性、少々のことではびくともしないという安心・安定感を提供するこの仕事に誇りを持ち、今後も地域に貢献していきたいと思っています。

# 今月の「輝き！」さん

No. 110



株式会社丸西組 ひがし 東 りゅうのすけ 龍之介さん

所 属：土木部  
 経験年数：1年2カ月  
 年 齢：24歳

小松市白江町の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーあなたの会社について教えてください。

弊社は、昭和24年創業、昭和37年設立で、主な業務は土木工事や建築工事における現場の施工管理等を担い、防災工事や災害復旧、社会インフラの整備構築などを行っています。私は、土木部に所属し、現在、「手取川災害復旧工事現場」で現場監督として頑張っています。

ー建設業を選んだ理由、入社した動機等について教えてください。

父が建設業を営んでおり、重機を操縦する姿が格好良くて幼いころから憧れていました。その影響もあってか、私自身「地図に残るものづくりの仕事に就きたい。」と思うようになり、高校を卒業後、県外の専門学校に進み、土木科で2年間、測量科で2年間学び、父が勧めてくれた丸西組に入社しました。

ーこれまでで思い出に残る現場、苦労した現場はありますか？

入社後、初めての「片山津消波ブロック製作据付工事現場」が特に印象に残っています。普段、何気なく見ていた消波ブロックにも海岸を波から守る大事な役割があり、私たちが日々安全に生活できるのも土木の仕事があってこそだと再認識できました。また、上司や先輩方が、右も左も分からない状態の私に色々と優しく教えてくださったことから、とても勉強になった現場でした。

ー仕事の苦労や、やりがいを感じるのとはどのようなときですか？

現場監督の業務で、測量作業や丁張を掛ける際に数値を計算するのですが、恥ずかしながら数学があまり得意でない私は毎回苦戦しています。しかし、数値に間違いなく施工が完了したときは、達成感ややりがいを感じます。現場では、何事に対しても確認を徹底し、安全第一で業務に取り組んでいます。

ー将来の夢、目標は？

当面は、土木施工管理技士1級・2級の合格が目標です。それ以外にも重機の操縦など様々な資格を取得して、一日でも早く立派な現場監督となり丸西組に貢献できるよう頑張ります。

ー休日はどのように過ごしていますか？

土曜・日曜にしっかり休みがとれるので、友人と買い物や食事に行ったり、天気の良い日は車内で音楽を聴きながら隣県などにドライブに出かけています。

ー最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

始めはいわゆる3Kへの不安がありましたが、実際に勤めてみると、給与が良い、希望が持てる、休暇がとれる環境だと感じています。土木の仕事は、成果として構造物が出来上がり、施工の進捗が目に見えることから、「ここまで頑張ったな。」と、とてもやりがいを感じられる仕事です。是非一緒に建設業で働きましょう。

 JOHY FM80.5MHz エフエム石川

けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]  
 毎月第4火曜日 18:00~18:05

今月放送

6月25日(火)

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

## 協会だより

### 石川県防災会議への参画

県建設業協会は、災害対策基本法に基づく指定地方公共機関に指定され、当協会長が石川県防災会議委員に就任しました。

5月27日(月)、県庁において県防災会議が開催され、

- (1) 令和6年能登半島地震の検証委員会の設置について
- (2) 石川県地震被害想定調査方針の見直しについて
- (3) 石川県地域防災計画の見直しについて
- (4) 令和6年度石川県水防計画の策定について

の4点が審議されました。

当協会では、令和6年能登半島地震において発災直後から道路啓開や緊急物資の運搬等、各種支援を実施しており、その経験・知識等を活かし、県をはじめ関係機関と連携して指定地方公共機関としての任を果たしてまいります。



### 理事会の開催

開催日時 令和6年5月17日(金) 10:00~12:00

開催場所 石川県地場産業振興センター

出席者 正副会長4名、理事33名、監事2名

#### 概要

平櫻会長が、「元日の発災以来、道路啓開並びに緊急輸送用務等において多大なるご尽力をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。特に道路啓開においては、大変厳しい環境の中、会員企業の社員の皆さんの頑張りにより、事故もなく、4月19日に一応の目途が立ちましたことを、重ねて厚く御礼申し上げます。私が新任当時、県協会の会館の建て替えを挙げた。会館については、建て替えが待ったなしである。能登や加賀の会員企業からアクセスのよい好立地の建て替え候補地が見つかったことから、皆さんにお諮りして5月27日の総会に臨みたいと思っている。先日から復興のフェーズとなってきており、お陰様で国の直轄工事や県・市町からの工事発注が動き出した。被災地企業として積極的な取り組みをお願いしたい。本日は、今年度の事業計画や決算報告等をお諮りしますのでよろしく申し上げます。」と挨拶しました。議事では、以下の審議事項について報告・審議が行われ、いずれも異議なく承認されました。



#### 〈審議事項〉

1. 令和5年度事業報告及び収支決算について
2. 令和6年度事業計画及び収支予算について
3. 理事・監事の選任について
4. 委員会名称の見直しについて
5. 新規入会について
6. 定時総会の招集について
7. 新建設総合センター(仮)の建て替えについて

## 「イメージアップ看板デザインコンテスト」入賞作品の紹介

県建設業協会は、「未来への扉 石川をつくる」をテーマとした「イメージアップ看板デザインコンテスト」を開催し、3月27日(水)の審査会(審査員長 寺井剛敏金沢美術工芸大学教授)において、最優秀賞1点、優秀賞3点、特別賞6点を選定しました。5月18日(土)県庁19階展望ロビーにおいて表彰式を開催し、平櫻 保会長、桜井 巨土木部長の挨拶の後、入賞者にそれぞれ賞状と副賞が手渡されました。入賞作10点は、5月24日(金)まで県庁19階展望ロビーに展示し、最優秀作品は、県土木部発注工事の現場に掲示していくこととしています。



### 【最優秀賞】



「つみあげて広がる街」  
松井 鞠生

#### 〈作品コメント〉

建設業に従事される方々には、初心や楽しさを忘れず仕事にあたってほしいと考え、積みきやブロック遊びをイメージしました。壊れてしまっても、何度でもつくりなおせて、復興に向けた明るい前向きな思いも込めています。

【優秀賞】



「輪」  
後 遥花

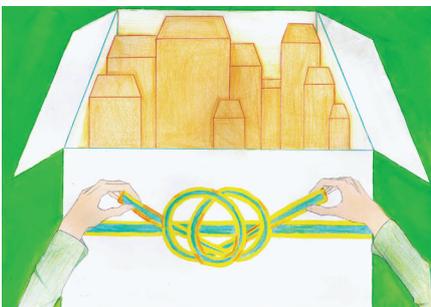


「つながっちゃうね。」  
荒川 沙耶



「未来のピースを創造する」  
武田 陸翔

【特別賞】



「つなぐ」  
室谷 梨奈



「石川の輪」  
山口 あずさ



「石川」  
長船 友哉



「石川さらに一步へ」  
出村 瑠菜



「シャボン玉」  
浅井 美海



「輝け！石川」  
飯山 紗羽

〈審査員長 寺井教授 コメント〉

能登の震災を意識した作品が数多く、震災復興を始め建設業の皆さんの力が非常に重要であり、その力を期待している感情が伝わる作品が多くありました。今回選ばれたデザインの看板が県から発注された建設現場に掲げられることで、建設業のイメージアップにつながっていくことを期待します。

## 建設業における時間外労働上限規制に係る講習会の開催

開催日時 令和6年5月16日(木) 14:00~15:00

開催場所 石川県建設総合センター

参加者 61名

### 概要

本年4月1日から適用の建設業における時間外労働の上限規制を踏まえ、石川労働局から細貝浩之労働基準部長を講師にお迎えし、令和6年能登半島地震への復旧・復興工事への対応に係る時間外労働の取り扱い等について、講習

会を開催しました。講習会では、建設業の「時間外労働の上限規制について」、「災害対応のための例外規定」等について講義をいただきました。

なお、石川労働局では、時間外労働の上限規制について個別の問い合わせを受け付けておりますので、疑問・質問等あれば、お近くの労働基準監督署や石川労働局労働基準部までお問い合わせください。



## 石川県総合建設業協同組合だより

### 理事会の開催

開催日時 令和6年5月17日(金) 12:55~13:15

開催場所 石川県地場産業振興センター

出席者 正副理事長3名、理事26名、監事2名

### 概要

議事では、以下の議案について報告・審議が行われ、いずれも異議なく承認されました。

#### 〈議案〉

1. 令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分（案）について
2. 令和6年度事業計画並びに収支予算承認について
3. 令和6年度借り入れ最高限度額の決定について
4. 令和6年度一組合員貸付限度額の決定について
5. 役員選任について
6. 総会の招集について



## 令和6年度 石川県総合建設業協同組合第50回通常総会の開催

開催日時 令和6年5月27日(月) 14:15~14:45  
 開催場所 石川県建設総合センター  
 出席者 組合員74名(委任状29名)

### 概 要

議事では、令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分(案)承認、令和6年度事業計画並びに収支予算承認、令和6年度借入最高限度額の決定、令和6年度一組員貸付最高限度額の決定、役員選任の5議案について審議・報告が行われいずれも異議なく承認されました。

なお、役員改選では、理事長に鶴山庄市氏、副理事長に真柄卓司(新任)、中市勝也、小中出佳津良の三氏、監事に野村幸平、寺井 裕、宮下克己の三氏、専務理事に山岸 勇氏が選任されました。

なお、新役員は次のとおり。



### 石川県総合建設業協同組合役員名簿

役 職	氏 名	会 社 名		役 職	氏 名	会 社 名	
理 事 長	鶴 山 庄 市	加賀建設(株)	新	理 事	清 水 廉太郎	太陽工業(株)	
副理事長	真 柄 卓 司	真柄建設(株)	新	〃	谷 端 正 宗	(株)慶伊組	
〃	中 市 勝 也	(株)丸中組		〃	山 崎 貴 文	(株)山崎組	
〃	小中出 佳津良	小中出建設(株)	新	〃	田 中 志 人	白山建設(株)	新
理 事	岡 昌 弘	(株)岡組		〃	表 守 活	(株)表組	
〃	岡 田 康 晴	酒井工業(株)		〃	南 哲 郎	南建設(株)	
〃	北 川 隆 明	北川ヒューテック(株)		〃	小 倉 一 夫	小倉建設(株)	
〃	小 柳 誠	日本海建設(株)		〃	田 村 行 利	(株)田村工業	
〃	高 田 直 人	(株)高田組		〃	林 登 良夫	(株)林組	
〃	豊 蔵 享 一	(株)豊蔵組		〃	高 木 作 之	昭和建設(株)	
〃	橋 本 和 宏	兼六建設(株)		〃	二 俣 馨	(株)新出組	
〃	坂 東 久 雄	共栄建設(株)		〃	池 崎 義 典	鈴平建設(株)	
〃	藤 内 拓 朗	橘建設(株)		〃	宮 下 正 久	宮下建設(株)	新
〃	本 田 正 敏	(株)本田工務店		〃	明 星 加守暢	林舗道(株)	
〃	水 内 健 之	城東建設(株)		監 事	野 村 幸 平	大三建設(株)	
〃	宮 下 英 己	(株)北都組		〃	寺 井 裕	寺井建設(株)	
〃	明 翫 圭 祐	(株)明翫組		〃	宮 下 克 己		
〃	吉 光 岳 文	(株)吉光組		専務理事	山 岸 勇	石川県総合建設業協同組合	
〃	江 口 充	(株)江口組					
〃	西 功太郎	(株)丸西組					

理事35名 監事3名

## 石川県土木施工管理技士会だより

### 第1回役員会の開催

開催日時 令和6年5月23日(木) 17:10~18:00  
開催場所 市内会議所  
出席者 正副会長2名、理事・監事15名、事務局2名

#### 概要

鶴山庄市会長の挨拶に続き、下記の議事内容について審議・報告を行いました。

#### 〈議事内容〉

1. 令和5年度事業報告並びに収支決算承認について
2. 令和6年度事業計画並びに収支予算承認について
3. 役員改選について
4. 令和6年度通常総会・講演会について



## 会員の異動

### 新入会ご挨拶



#### 株式会社 山本組

所在地 石川県能美市徳久町子3番地  
代表取締役 山本孝則

能美市徳久町の株式会社山本組と申します。

この度、入会のご承認をいただきありがとうございます。

昨今、過去にない規模の地震・豪雨・豪雪等の自然災害が発生していますが、これらの地域の安心安全な暮らしを守るため、自分が何をすべきかを考えて日々精進努力を重ねて参りたいと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」  
のために建退共制度に加入しませんか!

**建設業の退職金は**  
**日本全国どこの現場でも**  
**公共工事も民間工事も**

# 建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
**建設業退職金共済事業本部**

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共

検索

お問い合わせは

**建退共石川県支部**

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)  
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

# 許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」



なんでも  
経審Plus  
を使うと…

- ▶ JCIPへの申請データを作成できます! ※JCIP(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)
- ▶ JCIPから取り出した前回データも取り込めます!
- ▶ 経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんのでご注意ください。

登録経営状況分析機関  
登録番号 1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

- 北海道
- 関東
- 東北
- 中部・北陸

Tel 011-222-2688  
Tel 03-6661-7427  
Tel 03-6661-7214  
Tel 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階

詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または

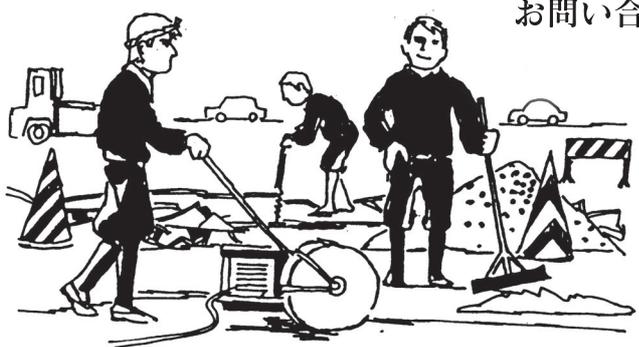
当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)に関するISO規格(27001)の認証を取得しています。



## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合  
損害保険ジャパン株式会社  
損保ジャパンパートナーズ株式会社  
TEL 076-231-7786  
FAX 076-231-7766  
〒920-0919 金沢市南町5-20  
中屋三井ビル2F

# ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者  
割戻金制度により  
**掛金負担が  
軽減**

**手厚い補償**

保険金区分合計  
最高**5,000万円**

労働者と企業の  
**リスクを  
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

## 建設共済保険

法定外労災補償制度



**今すぐ、ご加入を!**

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

### 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会  
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23  
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



**0120-913-931**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。